

〔研究論文募集要項〕

応募資格 「早稲田大学哲学会規則」会員種別のうち、(1) 教員会員 (2) 院生会員 (4) 一般会員とする。

内容 哲学に関するもの

字数 一六〇〇字以内 (四〇〇字詰め原稿用紙換算四十枚程度に相当)

提出方法 原稿 (Word形式とPDF形式の両方) の電子データを Philosophia.ed@list.waseda.jp に提出する。欧文題目を付すこと。受領を確認する返信メールの受け取りをもって提出完了とする。

提出期日 掲載年度の十月末日 (期限厳守)

採用数 公募論文の採用数は六篇程度とし、採否については、編集委員会が委嘱する査読委員の審査を経て編集委員会が決定する。

〔研究発表募集要項〕

応募資格 会員種別のうち (1) 教員会員 (2) 院生会員 (4) 一般会員とする。

内容 哲学に関するもの

発表時間 二十五分 (質疑応答十分)

応募方法 発表要旨 (一〇〇〇字程度) の電子データを Souetsu.web@list.waseda.jp に提出する。

応募期日 発表年度の四月末日 (期限厳守)

*採否については、運営委員会が決定する。発表は当該年度七月の大会において行い、同年度の会誌に発表要旨を掲載する。

〔研究ノート募集要項〕

応募資格 早稲田大学哲学会会員

内容 哲学に関するもので、研究の部分的成果を示すもの (翻訳・訳注を含む)

字数 八〇〇〇字程度 (四〇〇〇字詰め原稿用紙換算二十枚程度に相当)

提出方法 原稿 (Word形式とPDF形式の両方) の電子データを Souetsu.web@list.waseda.jp に提出する。欧文題目を付すこと。受領を確認する返信メールの受け取りをもって提出完了とする。

提出期限 掲載年度の十月末日 (期限厳守)

採用数 採否については、編集委員会が決定する。

編集後記

二〇二二年度の『フィロソフィア』一一〇号は、編集実務を担当した哲学コース助手の繁田歩氏をはじめ、多くの方々の尽力によって、公募論文四本をふくむ五本の研究論文を掲載することができました。現在、本誌の編集にかんして議論をかさねており、投稿規定や査読体制の整備など、いっそう充実した学術雑誌をめざして努力しております。今後も会員のみならず積極的な投稿をお待ちしています。

本年度の早大哲学会にかかわる活動については本誌「雑報」に記されているとおりですが、ここ数年コロナ禍のため、直接一堂に会して議論しあう場を設定することが困難であつただけに、今年はいずれも対面で実施できたことは大きな喜びでした。大学院生の研究発表においても、またシンポジウムと講演会の質疑においても、今年はとりわけ活発で実り多い議論がくりひろげられたように感じられました。そのことが反映しているからかもしれません。なお、納富信留先生をお迎えした特別講演会は、哲学コースによせられた寄附金を原資に企画されたものです。この場を借りて寄附者の方にご心よりお礼申し上げます。